

配信資料に関する仕様 No. 40103

～伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報～

1. 概要

気象庁では、伊豆東部において群発地震の発生の恐れがある場合に「伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報」を公表しております。

2. 電文の仕様

(1) データ種類コード

XML 電文: VXSE56

※記者会見・報道発表等の内容を情報発表するための電文「地震情報(地震の活動状況等に関する情報)」で用いるもの

(2) 電文内容概要

要素設定は「地震情報(地震の活動状況等に関する情報)」と同様であるが、特記事項は以下のとおり。

ア. 管理部の情報名称(Control/Title)

「地震の活動状況等に関する情報」で固定。

イ. ヘッダ部の識別情報(Head/EventID)

任意の地震識別番号を値として入れる（実際に発生した地震に関連するものではない）。

ウ. ヘッダ部の情報番号(Head/Serial)

常に空要素となる。

エ. ヘッダ部の見出し文(Head/Headline/Text)

“伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報を発表します。”

オ. 内容部のテキスト要素(Body/Text)

情報文タイトルを含む全文を本文中に記載する。

4. その他

(1) 本情報は、報道発表(報道投げ込みを含む)を行った後に必ず発表する。

(2) XML 電文の例は別紙 1 のとおり。

5. 障害時やメンテナンス時の対応

システム障害等により、当該気象情報の作成が不可能となった場合、データの再

送は行いません。あらかじめご承知おきください。

(別紙1)

【XML 電文(VXSE56 電文)の例】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
<Control>
  <Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
  <DateTime>2011-04-17T08:00:30Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
```

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>地震の活動状況等に関する情報</Title>
  <ReportDateTime>2011-04-17T17:00:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2011-04-17T17:00:00+09:00</TargetDateTime>
  <EventID>20110118130515</EventID>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial></Serial>
  <InfoKind>地震の活動状況等に関する情報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
  <Headline>
    <Text>伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報を発表します。</Text>
  </Headline>
</Head>
```

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
  <Text>
    伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報（第1号）
```

1. 見出し

10日夜から東伊豆奈良本(ならもと)観測点で縮みのひずみ変化が観測されはじめ、11日昼頃からは体に感じない小さな地震が発生しはじめました。このことから、伊豆東部の地下でマグマの貫入と上昇が始まったと思われま す。このため、今後、概ね4日、長くて1週間程度、地震活動が活発になる おそれがあります。

2. 現状

伊豆東部の地下でマグマの貫入と上昇が始まったとみられ、これに伴い、今 後、概ね4日、長くて1週間程度、地震活動が活発になるおそれがあります。

(地殻変動の状況)

10日夜から東伊豆奈良本観測点で観測されている縮みのひずみ変化は、11日19時現在継続しています。24時間変化量(換算値)は80nstrain(ナノストレイン)となっています。また、防災科学技術研究所及び 気象庁が整備している周辺の傾斜計にも同期した変化が現われています。今回のひずみ変化量に近い活動は2009年12月で、その時には震度1以上を観測する地震が259回、震度3以上が17回発生しました。

(地震活動の状況)

11日昼頃に始まった地震活動は11日19時現在も継続しており、震源は川奈崎付近の深さ6から7kmで、夕方以降、次第に浅くなっています。11日18時45分にはM2.6の地震が発生して、伊東市大原で震度1を観測しました。

(火山活動の状況)

噴火に直ちに結びつくような現象は観測されていません。

3. 見通し

11日19時現在の観測データから予測される地震活動等の見通しは、以下の通りです。

<今回の地震活動の見通し>

地震の規模と震度：最大マグニチュード5程度

最大震度4～5弱程度 *

震度1以上の地震回数：200から400回程度

活動期間：概ね4日、長くて1週間程度

4. 防災上の留意事項

活動期間の予測は一回のマグマ上昇に基づくため、複数回の上昇が起きた場合はさらに長引くことがあります。

マグマがさらに浅部へ上昇した場合、地震活動がさらに活発になることがあります。

次の伊豆東部の地震活動の見通しに関する情報は、12日09時頃に発表の予定です。なお、見通しの内容を更新する場合や、活動に顕著な変化があった場合等 には、随時お知らせします。

* 地盤の状況等により、さらに揺れが大きくなる場合があります。

</Text>

</Body>

</Report>